NIE実践報告

1．タイトル：**高校公民科における新聞読解力育成法―「NIEノート」(新聞要約＋α)の工夫を通して―**

2．学校名

大阪府立三島高等学校

3．実践者名（代表者名）

松井克行

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

公民科（政治・経済）

6．単元（本時の学習課題）名

夏期・冬期休暇中の宿題として「NIEノート」を課す！（冬期宿題では「NIEノート(上級編)」）

7．目標(狙い)

①継続的に新聞を読む。②政経「時事」的情報を自ら入手する能力習得。さらに冬期宿題では、③毎日の新聞記事から重要な政経情報を1~　3選択（量から質へ）。④評論文やニュース解説記事の読解、要約。

8．評価の視点

夏期宿題では、記事数と記事要約内容（政経に関する内容か。要約は適切か）。冬期宿題では、記事選択の適切性や、評論文やニュース解説記事の内容理解、要約の適切性を評価ポイントとした。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

夏期・冬期休暇中の宿題

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

「NIEノート」への新聞要約に加え、さらなる「＋α」の課題として、夏期宿題では「参議院選挙レポート」（7月29日実施の参議院選挙に関する新聞記事やTVニュース等から、「事前の予測と結果の関係」について分析、「選挙結果が与える影響」について、さらに新聞記事やTVニュース等から政治学者など専門家の様々な意見を集約、分析）、「修学旅行先（台湾）の記事収集と要約」を課した。

冬期宿題では、「NIEノート（上級編）」への新聞要約に加え、さらなる「＋α」の課題として、「2007年政経10大ニュース」の選定(例年、年末に、各新聞紙上に、2007年特集が載る。それを参考に「政経」分野に限定した「BEST10」を各自で選定して書く。その際、「なぜ、その記事を選択したか。なぜ、その順位にしたのか」についてのの理由を詳しく書くこと）を課した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

政経記事の要約では、ほとんどの生徒が積極的にとり組んだ。台湾の記事が少なかった(∴検索能力の低さ)。「参議院選挙レポート」では、データの出典未記載や、専門家の意見と「社説」を混同した生徒が多かった。

12．成果と課題

実践成果として2点指摘する。第1に、時事的な出来事との関連付けと共に、目的・方法・効果の明示により、生徒の学習意欲を喚起できた点である。ただ「やらせる」のではなく、「政治・経済に関する知識力」、「読解力」、「思考力」の向上等の具体的目標を挙げることが肝要。第2は、夏期宿題と冬期宿題の内容比較で、文章要約能力の向上が確認できた点である。新聞を読む習慣をつけた生徒が多く、冬期宿題における文章要約の質的向上に寄与したものと推察される（「継続は力なり」）。課題は、新聞読解を通じた論理的思考力・文章表現力の向上である。記事選択に関する論理的な理由（選定基準）の明示が不十分な生徒が多く見られたからで